



○石川豊信 秀葩ト辨ス

繪本東北森 半紙本 二卷 十八丁 寶曆二壬申正月

東都畫圖石川秀葩豊信ト署ス。鱗形屋孫兵衛校

彫刻 古尺菱巻繪 △本巻役者、銜安ニ狂歌ヲ歌セリ

繪本 倭語草 三卷 三十三丁 寶曆二年申二月

畫圖石川豊信

彫刻 佐脇庄兵衛 大改 大張本不吉本。江戸須原屋製

△將野亨吉也花ヲ歌筆烏有ノ繪本譬草トイハル同

書ナルハシ。刊年枝本皆同也

草花繪本 小本 一卷 十四丁

無工 明徳堂石川秀葩豊信 鱗形屋孫兵衛校

彫刻 鶴見嘉七



繪本末摘草

半紙本 一卷

十八丁半

寶曆七丁丑年三月

東都畫圖石川秀範畫信

鱗形色孫兵衛板

彫刻(東北森上同人)

△割印帳に仕盛末摘花トアハ八回書ナリ

繪本武者太閤那

半紙本 三卷 廿六丁半

寶曆九己卯年正月

△割印帳に繪本男子手繩ナリ

△本世後ニ西村原六ヨリ武者手綱ト題シテ再

武者手綱

前同書

女今川

大帙 一卷 二十回

無工石川豊信筆

田村の尾女

△口画一丁のみ一丁あり大画一丁あり
△他は皆上欄の細画あり
西村原六取
宝曆十二年改
元文二年丁巳十一月書

繪本花巻緑

半紙本 三卷

廿九丁半

宝曆十三歲二月

江戸石川豊信画

大野木市兵衛

彫工浪花村上源右衛門。浪花 禿帚子積

△本書教訓的の言葉書きを題に畫きたるものか

此と初の河の家業積の繪多く、後は意遊戯多し

繪 江戸紫

半紙本 三卷

三十丁

寶曆甲申(明和元年)三月

畫工石川豊信筆。作者浪花禿帚子

京都 板村三兵衛(其の)東都須原巻後其新設

△女の容姿を以てに畫きたり

繪 本千代の春

半紙本 三卷 三十丁

明和乙酉(二年)春

東都川村儀右衛門梓行

彫工 關根新兵衛

△後十軒后、山崎金兵衛再板セリ
又割印帳に繪本喻向卷ト同本歟

カード目録
ラ詳記セリ

繪本喻問答

△前書ト同本ナルベシ

繪本八代の春

二

善付十四丁 明和六年四月

石川豊信筆

前川六左衛門

△本書未見蓋繪本千代の春と同本歟

繪本曙(又明ほの)草

三卷

善付廿三丁 明和七年十月

禿帚子著(抄野)

繪本教訓種

三卷

善付三丁

安永八年三月

板元

須原屋長兵衛

繪本ひじろ山

二卷

版畫

大石貞虎作品

醉墨帖

大本一帖 彩色入

文政十年刊

此の畫帖には江戸京段の畫工三十七名の筆蹟と

載せられてある。即ち抱一・文虎・鶴堂・徹山・

公長・孔魚・春琴・竹石等に交りて貞虎は都

女郎を畫してある

廣畫國風

大本二冊

文政十年刊

大石貞虎(畫師)と署して二十六葉あり

畫してある

神事行燈

初編

半紙本一冊 彩色入

文政十二年刊

川柳を題に畫き大石貞虎圖と署してある

二編以下は國芳や英泉の畫である

粗

粗

麿齋畫百物

半紙本 二冊 彩色

天保三年刊

畫工大石真虎浪華に於て國すと署してある。鶴鹿丁・羅祭・競馬・盆踊・節季の候・

三番・狂言等約三十國から成つてゐる

百人一首一話 大本 九冊 天保四年刊

尾崎雅嘉の著書で大阪の執事屋九兵衛

の校本である。大石真虎國と署して百九葉

から成つてゐる

麿齋嚴島國會 大本十冊 天保十三年刊

多く京阪の畫工の手に成つてゐるが、其中山野

峻峯齋を除くは真虎が最も多く十葉から

畫してゐる

尾張名所國會

大本七冊

弘化元年刊

此の書は小田切春江が最も多く畫してゐるが

克大石真虎畫と署して一葉畫してゐる

女小學教草 大本一冊 嘉永五年四版

此の書原版は雪坑齋の描畫で享保十年の

刻であるが(北尾)後改板に當つて真虎に畫

かしたものである

張替行燈 半紙本 二冊 彩色

此の書は名古屋の永栗屋東四郎の校である

が、私の見たものハ刊年不明であるのにて未

載せた。二十三葉からの圖があるが、神事行

燈の類書である

本朝名家畫譜 二編 大本一冊
 大石衛門七真虎と署して武家の鷹狩
 を畫して居り、畫風は土佐風で渡邊清
 に學んだ面影がある、そして此の畫譜中
 最も真面目に努力した畫で大いに是るべ
 きものがある

○北尾政美

題簽不明柱

はなし榮色堂

笑話
青本

二

北尾重政門人
三治郎十五才画

(安永四)

浦山太
郎兵衛 龍宮の卷

青本

三

北尾門人
三二郎画

春滿作 安永九

彈手
餘多 空音本調子

三

ク

ク

十二支 嵐桃太郎

三

ク

文溪堂鼎岷作

山主我獨

二

ク

木鶏作

ク

桃太郎寶嚢

三

ク

ク

山入嵐桃太郎嚢

三

ク

ク

縁組連理鮎

三

北尾政美画

元明元

桃太郎一代記

五

ク

ク

不確

山本喜内てんぐ噺	二	北尾政美画	天明元
八重山吹色都	二	赤良作	ク
興出見世吉原	三	南陀伽紫蘭作	ク
富士屋煙競蕎麥屋真木	三	芝全文作	ク
女郎買糠みそ汁	三	不署名 通笑作	ク
いろは ぼへとたんか	三	北尾政美作 通笑門人 道笑作	ク
おと 菊壽盃	三	可笑作	ク
初夢寶山吹色	三		ク
福夢想大黒銀	三	画工 北尾門人	ク
下戸いろは短歌	二	北尾政美画	ク
上戸			二

未見

○湖龍齋

偏録挺論 浮世譚子 半紙本 五卷 九丁 安永六年正月

湖龍齋戯画 大川白馬津久休人

東都書肆 四ツ市竹川 安永合版

妓者呼子鳥 洒落本 一冊 二丁

湖龍齋画 安永 五丁

市判追古記 青本 二冊 安永七

△ 四代目團十郎 夜雨庵五粒とす、安永七年二月廿五、七十

新大豆之助 草賣親方 青本 二冊 十丁 安永七以辰

湖龍齋 新葉作之 江戸通油所 山 丸小 版

△臆後年代化。湖意齋は青本にあり。浅見
意に付す。に是らす

役者手鑑 俳諧 半紙本 一巻 十丁 安永八年三月

湖龍齋画 花吸菴藏 伏見屋善藏

△畫の上は、役者の手鑑として白華の非
白を載せたり

家暮長命四季物語 酒本 一冊

湖龍齋画作 亭安永八年 蓬萊之人物橋

△跋。安永八の亥初春一竹齋達竹述
△一竹齋は曲亭馬路ニ
アサガルベ。何ト云ハ馬
路ハ明和四年ニ生レ。安永八ニ年六僅二十三歳ナレバナリ

三歳繰珠數暫 青本 二冊 十丁 安永八

湖龍齋・文調画。立川馬馬作△白猿追善ノ或作

混雜倭草畫 繪本 大本 三卷 四十六丁 安永十年三月

画工湖龍齋 亭。安永辛丑初春 雪中庵 夢多太

(割帳)

△安永十年 和泉左衛門次郎 天明三年 前川六左衛門

西節吟 俳諧 繪本 一巻 六丁半 天明三年 歲旦

法橋湖龍齋画 五回 外ニ勝川春章ト重改ノ画アリ

北里歌 半紙本 一巻 二十回 申椒堂 梓

玄味子著 序。東眞逸客 跋。九日山人

△北里ハ游里吉原ヲ指ス。吉原ノ遊女。西平羽・桃李・

菱花(以上三人ハ遊女カ否カ不明)筒井・濃紙・祀高

菅原(以上四人ハ遊女ト云ヒ)七人ノ書ヲ載セタリ

風流略源氏 繪本 半紙本 彩色入

湖龍齋画

欠本ヲ見テ
明記シ難シ

○蘇英林

東海道名所圖會

大本六冊

寺ノ德利

在歌

半紙本一

寛政九、二

文化元

新
版
其由來光德寺門
○鳥文齋榮之

○西村重長

死靈解脱物語

讀本 大本 二卷

元禄三年午十月廿日

仙花堂西村重長筆ト署ス

正徳二壬辰歲改

△元禄版ニ極繪ナク正徳二年改版ニアタリテ重長ノ繪ヲ

入レタルナレバシ

吾妻海道

(題箋ナキモノヲ見)

併文 半紙本一卷 元文五、五

書工西村重長ト署ス

江戸 西村源六版

序。以字誤山

跋。天池齋魚貝

敵討笈花蔓

落世草子 大本 五卷

寛保三

序。偏西齋堂梁虹遊

江戸

川村源左衛門版

新入 桃太郎物語 讀本 半紙本 五卷

江戸 寶曆三

重長筆ト署ス 序。布袋家宝々

江戸 小澤伊兵衛版

繪本江戸みゆげ 江戸名所 表年三卷 世四丁 寶曆三

画工重長 京師 菊屋安兵衛 安永八年再版

作者。玉芝敬人 江戸 奥村虎兵衛版

此ノ書細画ニテ重長ノ技量ヲ見ガタシ

百千鳥艶郷夢我 中村府 小一七丁 寶曆四、正

急所筆工西村重長 ト署名 〇

雛鶴源氏艶文選 大本一卷 宝曆三、以後版

西村重長筆 江戸 珍田七兵衛

狼の聲入 赤本 二

猿筆合戦 赤本 小一

西村重長筆

鳥の嫁入 柱より 赤本 小二

鼠の忍んぐみ 赤本 二

未見

未見

○西村重信

女今川 大本一冊 江戸半

画工西村孫三郎重信筆 元文二年丁巳十月吉日 田村らり尾女書

△寶曆十二年、石川甚信ノ描画ニテ書者同人ノモノアリ

ねずみ嫁入 赤本 二冊 十丁

前同書 △延享二年款

天神記 (十五) 赤本 六段 市川 小 西月吉日

西村重信圖 大傳馬三所目 孫兵衛板

桃太郎昔話 赤本 二冊 十丁

馬 西村孫三良 〇

未見

○山本重春

平七郎ト稱ス

新 紅四湖四昔物語

青本 二冊

寛延元戊辰

山本平七郎重春画作ト署ス

山

新 三輪山猿手柄

黒本 二冊

寛延二己巳年

山本重春画

山 山本

熟 茶丸始

黒下

作工画工山本重春

日本蓬艾の始

山

新 延喜ノ帝

青本 三

山本平七郎重春画

山

○山本義信

平七郎ト稱ス

吉原 里巡禮

枕本 一 一回

寛延四末 (寶曆)

山本平七郎義信書

大傳馬

山本九左衛門

△吉原細見ナルモノ、燈籠火、又此ノ年ヨリ吉原ニ女懸者出ル

渡邊竹下平鬼熊退治

里本 二冊

さるのとく、そんげん

序。作者画。山本義信

山

(宝曆 二六)

○礪川亭魚ひり

青樓五ッ厂金

洒落本 一卷 一丁半

天明八年

梅月堂梳人述

序。林月堂かちんと
波梁軒

○武川亭永脛

同風集

狂歌

枕本 一卷

彩色入

享和二

風董婦仇討

青本

二卷

文化元

十返齋(一九)作

狂歌蓬萊集

半紙本

前後編二卷

文化四、九

六樹園編

系竹古今集

兼题冰·寄鳥庭

乱川永艸卜署不

小本一卷

狂歌半纸本

刊年不明

刊年不明